

心聖会 広報誌

広報こいけ

発行：社会福祉法人 心聖会
 広報委員会
 発行責任者：吉村 優児
 URL <http://www.e-shinseikai.or.jp/>

(法人事務局)
 〒276-0001
 千葉県八千代市小池393
 TEL 047(488)8222 FAX 047(488)8229

経営理念

わたしたちは、利用者の幸せ、利用者の家族の幸せ、地域住民の幸せ、そして、これらを支えることを職員の幸せとして事業に取り組みます。

- ・障害のある人の人格と個性を尊重します。
- ・障害のある人が安心して豊かな地域生活を営めるよう支援します。
- ・障害のある人の喜びや悲しみを共感できる職員であることに努めます。

謹賀新年



こうした第一種社会福祉事業の意義をしっかりと踏まえたうえで、どこで誰と、どのように暮らしたいのかといった、ご利用者の意思や希望を尊重することができる支援体制を整備してまいります。併せて、国連が障害者権利条約批准国の日本に向け表明した勧告のなかで「脱施設化」を指摘した経緯等を鑑み、障害者支援施設に求められる役割や機能、あるべき姿の追求に、今後も取り組んでまいります。

末筆ながら、皆さまにおかれましては、本年が健やかで幸多き年でありますようご祈念申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。

年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。皆さまにおかれましては、お健やかに新年をお迎えのことと存じます。旧年中はたいへんお世話になり、誠にありがとうございました。

さて、当法人が運営しております事業所には、小池更生園、及び作山更生園の障害者支援施設の2施設がございます。障害者支援施設は、社会福祉法において第一種社会福祉事業に該当し、経営主体は行政もしくは社会福祉法人に限られております。事業の性質上、ご利用者の保護の必要性の高さや経営の安定性が強く求められるからであります。

社会福祉法人心聖会 理事長

白鳥 征四朗

新年のご挨拶

新年の抱負 未来を担う職員たち



小池更生園 支援員
佐々木 吾朗

あけましておめでとございませう。昨年7月に入職しました佐々木吾朗と申します。入職から約半年が経過した現在、業務にも次第に慣れてきた一方で、まだまだ未熟な部分が見えてきました。そこで、今年の抱負として自身の支援員としての技量の底上げを掲げました。具体的にはご利用者が抱える障害についての知識だけではなく、ご利用者の訴えやその背景にあるものを理解し、ニーズを深く理解することを目標にします。ご利用者と積極的に関わりながら、支援におけるコミュニケーション力の向上に励みます。併せて、小池更生園の掲げる「凡事徹底」の実現に向け、掃除や挨拶、ご利用者様への丁寧な対応等の基本となる業務についても、更なる向上に努めてまいります。本年もご指導ご鞭撻のほど、宜しくお願い申し上げます。



作山更生園 支援員
関口 淳

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。昨年は、ご利用者おひとりおひとりの笑顔に支えられ、多くの学びと成長をいただくことができました。日頃よりご理解とご協力を賜っておりますご家族の皆さま、そして地域の皆さまには、心より御礼申し上げます。本年も引き続き、ご利用者が安心して快適に過ごせるよう、より一層質の高い支援に努めてまいります。意思決定支援の強化は、ご利用者が自分らしい人生を送るための基盤です。個々のコミュニケーション方法を尊重し、意思を引き出す工夫を凝らしてまいります。環境を整えるとともに、ご利用者の自己決定を支援し、経験を次に繋げてまいります。多職種・多機関と連携することで、本人の意思を尊重する包括的な支援を目標に今年度も取り組んでまいります。皆さまにとって、この一年が健康で、心豊かな実り多き年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。



こいけ障害者
支援センター
支援員 甚五 美月

新年あけましておめでとございませう。皆さまが無事に新年を迎えられたことを、心よりお祝い申し上げます。

今年度、広報委員として初めて活動に参加し、心聖会には多様な人材と強い情熱があることを改めて実感しました。広報誌を通じて、普段は見えにくい仲間の「想い」や「熱意」をお届けできたのではないかと思っています。また、私自身も他事業所の工夫や取り組みに触れ、多くの刺激を受けました。

本年も、仲間と楽しみながら、様々なニュースを丁寧に発信し、皆さまを明るく元気にできるような情報をお届けしてまいります。新しい一年が、皆さまにとって素晴らしいものとなりますよう、心よりお祈り申し上げます。

元気 出ます
良いことあります
そんな
インスタです



こいけホーム
支援員 中村はるか

新年明けましておめでとございませう。昨年は格別のご支援とご理解を賜り、誠にありがとうございますございました。本年も皆さまにたくさん笑顔をお届けできるよう、職員一同、誠心誠意努めてまいりますので、どうぞ宜しくお願い申し上げます。私の今年の抱負は、事業所の強み「家庭的で温かな安心感」と「居心地の良さ」を活かした支援を提供することです。こいけホームには、LDK（リビングダイニングキッチン）があり、ご利用者の交流や憩いの場として重宝されています。仲間と同じ時間を共有したいときはここに集まり、少し疲れたらそれぞれ個室に戻るといったように、皆さま日々思い思いに過ごされています。やりたいこと、欲しい物、行きたい場所など、ご希望はひとりひとり違って当然です。ご利用者の大切な想いに寄り添い、心の声に耳を傾け、充実した毎日を送っていただけるよう精進してまいります。

小池更生園 便い

千葉県知的障害者福祉協会主催

中堅職員研修会のご報告



小池更生園 支援員

吉田 航

11月12日・13日の2日間、千葉県知的障害者福祉協会主催の「令和7年度中堅職員研修会」に参加いたしました。

初日は講師の皆様による講演と交流会、2日目は県内各事業所による実践発表が行われました。その中でも、初日に行われた久田則夫先生によるご講演「どうすればぶれない上司・先輩になれるか」には大変感銘を受けました。吉村施設長より、久田先生の講演は大変勉強になると伺っていたこともあり、真剣な姿勢で受講に臨んだ結果、自分自身の仕事での姿勢や職員間でのコミュニケーションの取り方について、深く考えさせられる機会となりました。

講演では、先輩職員として後輩職員と日常的なコミュニケーションを取るにあたって「認め上手、感謝上手、ねぎらい上手、

いたわり上手」になることで、後輩たちの信頼を積み重ねることができると、そして信頼できる先輩職員にミスや間違いを指摘された後輩たちは「この人に言われたからには気をつけよう」と意識するようになり、その結果「指摘上手」な先輩になるといった、信頼関係の重要性が述べられていました。日常的なコミュニケーションを通じて信頼関係を築くといった視点をこれまで持ち合わせていなかったことに気がつき、大きな衝撃を受けました。

こうした講演のテーマだけではなく、久田先生の話し方や講演の進め方も、大変印象に残っています。抑揚の付け方や声の強弱等、工夫次第でここまで聴衆を惹きつけることができるという点にも、大きな感銘を受けました。

2日間の研修を通じて、自身に不足していた知識や視点に気がついただけでなく、目指すべき先輩職員としての姿を思い描くことができました。支援技術や知識の向上に加え、こうした信頼関係の構築に寄与することを新たな目標に、業務に励んで参ります。

いってききました！

一泊旅行



小池更生園 支援員

土家 颯斗

11月6日・7日、鴨川方面への一泊旅行を実施しました。今回の宿に選んだのは、太平洋を望む温泉宿。現地では、海辺の遊歩道を散策したり、さざ波の音を聴きながらゆっくり温泉に浸かったりと、皆さま思い思いの時間を過ごされました。メインイベントの夕食は、宴会場での豪華な海鮮料理。舌鼓を打った後は、カラオケ大会でストレスを発散して、皆さま大変ご旅行を楽しまれている様子でした。

一泊二日の短い時間ではありましたが、皆さま大変満足された様子で、企画した私たちにも大きな励みになっていきます。今後も、皆さまに楽しんでいただける旅行を企画してまいります。



年末イベントのご報告



小池更生園 支援員

佐藤 大哉

12月13日に開催いたしました年末イベントについてご報告いたします。例年、ご家族をお招きして開催している年末イベント。今年も多くのご利用者が楽しみにされ、行事担当である私たちも力を入れて準備に励んでおりました。しかし12月に入り、ご利用者の体調不良が相次いだため、ご利用者と職員のみでの開催とさせていただきます。イベント当日は、お弁当やお菓子を楽しめるご利用者のご様子を目にするのができ、大変うれしく感じました。ご家族の皆さまにはご心配とご迷惑をおかけいたしましたこと、この場を借りてお詫び申し上げます。今後も、ご利用者の皆さまに楽しんでいただけるイベントの実現に向け、尽力してまいります。



作山更生園便り

さわやか芸能発表会

令和7年12月2日(火)、千葉県文化会館で開催された「さわやか芸能発表会」に参加しました。当日は、県内の障害福祉関係施設等から多くの出演者が参加し、歌やダンス、日頃の活動の成果を披露しました。



表彰おめでとう！

久しぶりの外出ということもあり、道中の車内では、ご利用者の皆さまにも笑顔が見られていました。会場に到着し、案内された席はなんと最前列！開会前から気分は大盛り上がりでした。舞台では、出演者ひとりひとりが練習の成果を発揮し、笑顔あふれる発表が行われました。マツケンサンバやドリフターズ



さくやまCHRISTMAS

など、馴染みのある演目が多く、ご利用者の皆様も手拍子や掛け声でステージを盛り上げていました。

また、今回、作山更生園は展示発表を行いました。テーマは「さくやまCHRISTMAS」です。すずのね班のご利用者が中心となつて制作活動に取り組んだ結果、毛糸作品や絵画など、温かく彩りのある作品が出来上がりました。アート活動や生産活動は積極的に行っている取り組みのひとつであるため、今後またたくさんの方にご覧いただける作品展への出展等に挑戦いたします。

発表会の終盤、ゲストの「歌のおねえさん」のステージでは、手を振ったり一緒に踊ったりなど、またまた大盛り上がり！ご利用者の表情には、閉会後も満足された様子が見られました。

年末お楽しみ会

例年開催しております「年末お楽しみ会」ですが、施設内において感染症の発生が確認されたため、感染拡大防止を最優先とし、誠に残念ではございますが中止とさせていただきます。

楽しみにしていただきましたご利用者の皆さま、またご家族の皆さまには、ご期待に沿えず心よりお詫び申し上げます。

当日の行事は中止になりましたが、企画していた催し物の抽選会は各棟で執り行いました。お目当ての景品が当たった方もいれば、そうじゃない方もいらつしゃいしましたが、皆さま大変楽しんでいました。お食事は予定通りご提供することができ、海老の天ぷら弁当を皆さま美味しく召し上がっていました。



景品あたってぞ！

強度行動障害研修報告

作山更生園 支援課

水口 淳也

今回の強度行動障害研修を通して、強度行動障害に対する支援は専門的な知識だけでなく、日々の関わり方や支援者の姿勢が大きく影響することを学びました。研修では、強度行動障害とされる行動は本人の意思表出の一つであり、環境や人との関係性の中で生じているものであるという視点が繰り返し示されていました。そのため、行動を抑える支援ではなく、行動が起きにくい環境を整える支援の重要性を理解することができました。特に、言葉を使わずにジェスチャーのみで課題を伝えるロールプレイを通して、意思疎通が困難な利用者の不安や伝えにくさを実感しました。見通しが立たない状況は不安を高め、強度行動につながる可能性があるため、支援者の一貫した対応と分かりやすい支援が必要であると感じました。今後は、記録やアセスメントに基づいた支援をチームで検討し、本人の尊厳を守りながら、その人らしい生活を支えていきたいと考えています。

こいけ障害者
支援センター便り

地域の中で

11月下旬、オーエンス八千代市民ギャラリーで行われた、慶応義塾大学大学院メディアデザイン研究科主催の「スタンプ絵ワークショップ」に、ご利用者9名が参加しました。野菜の茎やスポンジに絵の具をつけてスタンプする、創作を楽しむ内容です。会場では、スタンプする材料が選べるように置かれ、参加したご利用者は期待と少しの緊張を胸に、席についていまし



集合写真



た。学生や先生方はマンツーマンに近い形で、言葉だけではなく実演を交えて伝えてくださり、ご利用者もイメージが掴みやすくなり、次第に表情が明るくなっていきました。活動が進むにつれ、納得のいく作品を完成させたご利用者は、周囲からの称賛にとっても嬉しそうなお様子でした。普段は福祉に触れる機会が少ない学生の方々が、障害のある人とのコミュニケーションを工夫しながら丁寧に寄り添う姿も印象的で、会場は終始にぎやかで温かな雰囲気になっていました。完成した作品は12月のとおっておきの作品展で「理事長賞」を受賞しました。このような貴重な機会に参加できたことに心より感謝申し上げます。今回の経験を今後の活動にも活かしていきます。

こいけホーム便り

締めくくりは忘年会！

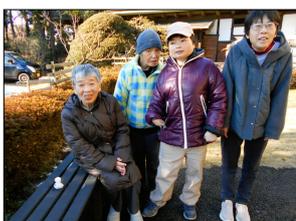
12月30日、恒例の「こいけホーム忘年会」を開催しました。豪華な昼食にスイーツ、そして皆さまお楽しみのプレゼントも用意されています。お食事は「特大穴子天ぷらのお弁当」、手のひら大のとっても大きな天ぷらが目を惹きます。スイーツは「クレープ・オ・フリユイ」華やかなケーキと軽快な司会が会場を盛り上げます。プレゼントとともに、笑顔で集合写真を撮影し、大盛況の内に一年の締めくくりとなりました。



一年の計！初詣

1月2日、新年初めの行事「初詣」に出掛けました。希望者一同バスに乗り込み、船尾宗像神社へ出発です。

到着後は、「今年も健康に」「〇〇さんが入居してくれて嬉しかった」などなど、皆様思い思いにお参りをされていました。また、バスから降りずにドライブのみ楽しまれた方、外出せずにホームでゆっくり過ごされた方もいらっしゃいました。それぞれ希望に合わせ、新年の幕開けを迎えました。皆さまが健やかに過ごせる一年となりますように。



法人だより

新入職員紹介

小池更生園



名前 佐々木 吾朗

(ささきごろう)

出身地 千葉県八千代市

好きな言葉 「塵も積もれば山となる」

「初心忘るべからず」



名前 大澤 光佑

(おおさわこうすけ)

出身地 千葉県船橋市

好きな言葉

「初心忘るべからず」

作山更生園



名前 井上 慧大

(いのうえけいだい)

出身地 鳥取県鳥取市

好きな言葉 「七難八苦」

名前 山崎 茂

(やまざきしげる)

出身地 千葉県千葉市

好きな言葉 「人に感謝」

こいけ障害者支援センター



名前 岡崎 森

(おかざきしん)

出身地 神奈川県藤沢市

好きな言葉 「春風秋雨」



名前 遠藤 雪絵

(えんどうゆきえ)

出身地 千葉県船橋市

好きな言葉

「初心忘るべからず」

フットサル大会のご報告



小池更生園 支援員

佐久間 悠

11月20日(木)、千葉県知的障害者福祉協会主催、第2回施設職員交流フットサル大会に参加しました。当日は14チームが参加し、熱い戦いを繰り広げました。決勝トーナメントの初戦は同点で推移。PK戦では惜しくも敗れ、福利厚生トーナメントに回ることになりました。その結果、なんと決勝に進出！新人・大澤支援員の活躍もあって見事勝利し、福利厚生委員長賞に輝きました。初戦ではミスも目立ち、くやしい思いをしましたが、福利厚生トーナメントでは全員で連携し、昨年以上の成績を残すことができました。来年度は、まず初戦突破を目標に掲げ、全力で試合に臨みます。

寄付のお知らせ

令和7年度ご寄付

有限会社 船橋住宅エーゼン

代表取締役 村山 剛 様

社会福祉法人 実のりの会

理事長 森下 正彦 様

株式会社 越田

越田 光子 様

株式会社 越田

伊藤 みさ子 様

サントリー

ビバレッジソリューション様

田中 郁美 様

大久保 富江 様

ご支援に、心より感謝申し上げます。



編集後記

皆さまいかがお過ごしでしょうか。今年最初の広報誌がお手元に届く頃、日本にはもうパンダが居ないのでしょね。切ないです。パンダ、和名をジャイアントパンダ、中国名では大熊猫と表記されるのは有名ですよ。さて、何故パンダの前にジャイアントが付いているのでしょうか。パンダという名前が初めて登場するのは19世紀のことです。ヒマラヤで発見されふさふさとした尾とキツネに似た白い顔を持つ赤褐色の格好の良い動物…。そうです、最初はレッサーパンダがパンダと呼ばれていたのです。しかしその後、「白黒の熊」が発見され、区別するためにレッサーパンダ、ジャイアントパンダと呼ばれるようになったのです。

カンカン&ランランの初来日は昭和47年。それから50余年、日本でパンダが飼育された動物園は、上野、和歌山、神戸の3か所、私はいずれの動物園にも何度となく通いました。寝返りを打つだけで可愛いのです。また会いたいな。待つてるよ！

